



令和2年6月12日

担当課	こども科学館
担当者	中野
電話	073-432-0002
内線	

こども科学館で日食めがねをプレゼントします

6月21日(日)に日食があります。この日食は、日本全国で部分日食として見えるもので、和歌山市では16時6分に太陽の左下から欠けはじめ、17時11分に最も大きく欠け、太陽の左下55パーセントが欠けて見えます。日食が終わるのは18時9分です。

この次に和歌山市で見える日食は2030年6月1日の夕方に見える部分日食であり、今年6月21日(日)の日食を見逃すと今後10年間、日食は見えません。

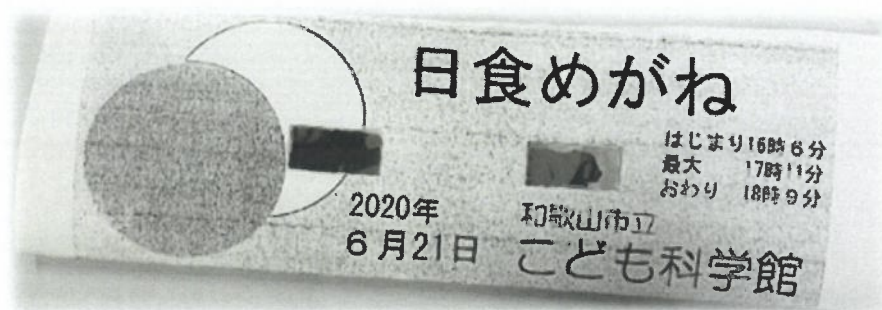
日食を安全に観察するには、日食めがねなど太陽の光を減光して安全に観察するためのフィルターが必要です。こども科学館では日食めがねの工作教室や観察会を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の予防のために6月の各教室は中止となっています。そのため、教室のために準備した日食観察用のフィルターを使い、こども科学館で日食メガネを製作してつぎのとおりプレゼントすることにしました。

なお、日食めがねがなくても日食を楽しむ方法もありますので、安全に気をつけて日食の観察を楽しんでください。

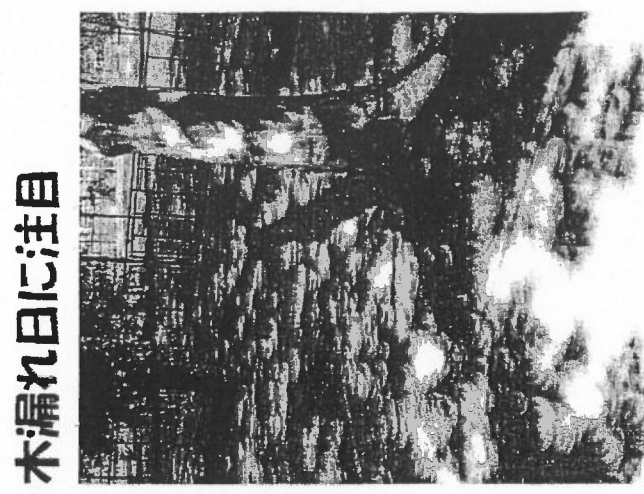
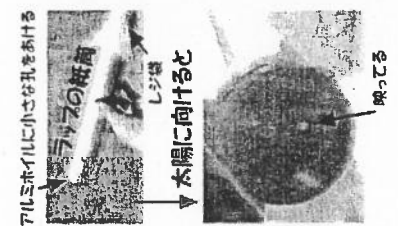
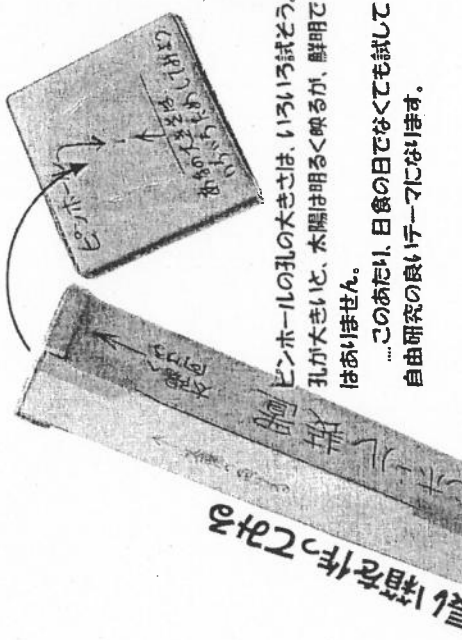
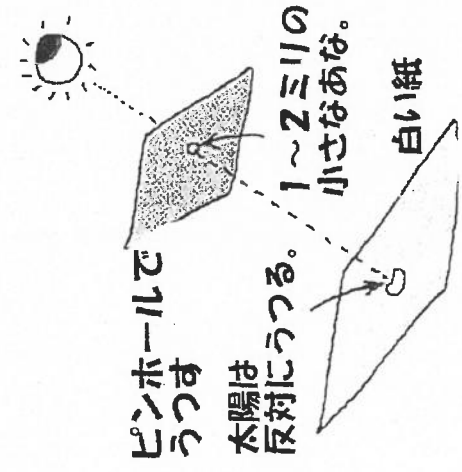
対象：次の日程でプラネタリウムをご覧いただいたお客様
(300枚限定、なくなり次第終了)

◆プラネタリウム投影日程

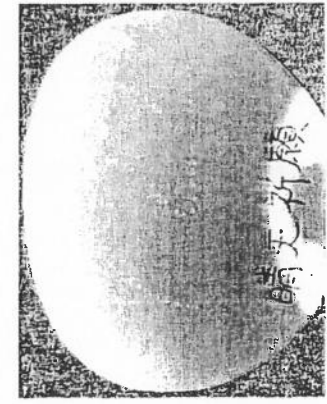
- 6月13日(土)、14日(日)、20日(土)、21日(日)
○投影時間 11:00、13:00、14:00、15:30から
○各回定員 61人



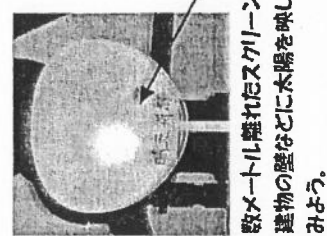
日食めがねがなくても日食を楽しむ方法



木漏れ日に注目



たくさん孔をあけると楽しい。



数メートル離れたスクリーンや建物の壁などに太陽を映してみよう。
テープで2cmにあわせている



小さな鏡で太陽を反射させる

■欠けた太陽の形の木漏れ日
金環日食の時の部分日食が木漏れ日となって見え
たもの。もちろん皆既日食の前後の部分日食や、7
月22日の部分日食でも同様に欠けた太陽の木漏れ
日を見ることが出来る（2005年10月3日の金環
日食の時に、スペインで大塚 治・和子さんが撮影）
「星ナビ別冊／皆既日食マニキュアル」の記事を
改定したものです。提供：アストロアーツ

和歌山市において日食が見えるのは26年後ではありません。ご安心ください。

次に和歌山市で見える日食は、6ヶ月後、2010年1月15日 17:03 です。日没前に太陽の右下が欠けています。（約20%）
次に和歌山市で今年以上に欠ける日食は、3年後、2012年5月12日に見える金環日食です。
26年後にしか見えないという情報は、日本で次に見える皆既日食は2035年9月2日であるからです。しかし、そのときには、和歌山市は皆既帯に入っていないので、今年のように太陽が三日月状になる部分日食しか見えません。